

1. 医療を受けられる方の権利を尊重し、説明と納得・信頼の医療を追求します。
2. 医療安全に努め、質の高いチーム医療とあたたかな看護を実践します。
3. 救急医療の充実に努めると共に、災害医療にも対応できる病院を目指します。
4. 地域の福祉・医療機関と連携し、疾病治療と予防医療を推進します。
5. 継続的な地域医療を実践するため、経営の安定化に努めます。

患者サービス改善の取り組み

当院では、患者さまに対する医療サービス全体の質の向上を図るため、院内の職員で構成する患者サービス検討委員会を設置し、業務内容の見直し検討や患者サービス改善のための企画・立案・調査を実施しております。

活動内容について一部ご紹介させていただきます。

意見箱への対応、回答

高島市民病院では皆さまのご意見・ご要望をお聞かせいただくために院内に「意見箱」を設置しております。毎週開封し、病院総務課、関係各部署や委員会にて検討しています。

頂戴したご意見は、病院からの回答と合わせて外来掲示板へ掲示するとともに、病院ホームページにも掲載し、職員への周知も図っております。



今後も地域住民の皆さまのご意見を反映し、医療サービスの質向上を目指していきたくと考えております。

待ち時間調査について

令和3年7月19日から21日の3日間に、外来及び入院患者さんを対象に、患者満足度調査と待ち時間調査を実施しました。ご協力いただいた患者さんおよびご家族の方に厚く御礼申し上げます。調査結果につきましては、病院ホームページに掲載し、職員内でも周知しております。

今回の調査結果を全職員共有し、医療サービスの改善・向上に努めて参りますので、今後もご指導賜りますようよろしくお願い申し上げます。

自動精算機の設置

外来患者さんの会計時の待ち時間と混雑を避けるため、令和2年より自動精算機を設置いたしました。会計窓口同様、現金、クレジットカードどちらでのお支払いも可能となっております。



花粉症に注意しましょう

花粉症の季節がやってきました。花粉症の正体は花粉に対して人間の体が起こすアレルギー反応です。体の免疫反応が、花粉に過剰に反応して花粉症の症状がでるのです。くしゃみ・鼻水・鼻づまり・目のかゆみ、人によっては、頭痛・体のだるさ・イライラ感など、さまざまな症状がでることもあり、意欲が低下して日常生活にまで支障をきたすことがあります。

そんな厄介な花粉症でも、できるだけ快適に過ごせるように対策を立てていきましょう。

マスクをきちんとつけましょう

マスクは、花粉の飛散の多いときには吸い込む花粉をおよそ3分の1から6分の1に減らし、鼻の症状を少なくさせる効果が期待されています。また風邪などの感染症予防にも効果が効果があります。



洗顔しましょう

花粉が人間に付着しやすいのは表面に出ている頭と顔です。外から帰ってきたら洗顔して花粉を落とすと良いでしょう。

うがいをしましょう

鼻の粘膜には線毛があり、粘膜の上の異物を輸送します。うがいは、のどに流れた花粉を除去するのに効果があります。外出から帰ってきたらうがいをしましょう。

洗濯ものは家の中に干しましょう

花粉の飛んでいない日は外でもいいですが、しっかり花粉を払うことが大切です。



他にも効果があるといわれていることがあります。自分に合った方法を吟味して対応しましょう。

また、無理をせず医療機関へ受診することも大切です。健診センターでは、人間ドッグや生活習慣病予防健診、ミニ健診のオプションとして、アレルギー検査を追加することができます。アレルギー検査で原因を特定させ、確実な予防の対策を立てましょう。